

「知覧茶」銘柄統一へ準備進む



南九州市で生産される茶は、これまで「知覧茶」、「えい茶」、「かわなべ茶」の3つの銘柄でしたが、平成29年産の新茶から「知覧茶」に統一されます。

これに向けて、南九州市茶業振興会では、統一ロゴマーク制定のほか、取引先への周知活動、新しい看板の設置などの準備を進めているところです。今年の1月6日には、県茶市場で開催された、県内の茶業関係者が一同に会する新春初取引会において、銘柄統一のPRを行いました。

南九州市は、茶の栽培面積が3,452ヘクタール、荒茶生産量が11,000トン（平成27年度）で、全国の市町村の中では一番の規模を誇っています。

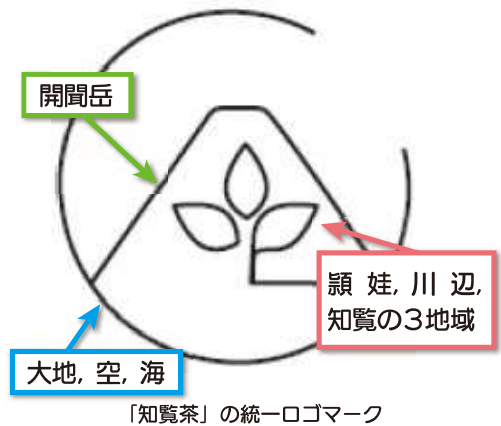
今回の銘柄統一により、知覧茶の販売量拡大だけでなく、消費者の認知度が高まることで、産地の活性化が期待されます。



新春初取引会で南九州市茶業振興会が銘柄統一をPR



「知覧茶」をPRする巨大な急須モニュメント
(知覧特攻平和会館駐車場)



「知覧茶」の統一ロゴマーク

南薩地域包括ケア・ボランティア活動表彰



「地域包括ケア」とは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制のことです。「南薩地域包括ケア・ボランティア活動表彰」は、この「地域包括ケア」に関し、南薩地域でボランティア活動を通じて、その功績が顕著な人や団体を表彰する事業です。今回、南さつま市の「内山田ハーモニカ同好会」と、南九州市の「上之口老人クラブ」の2団体が表彰されました。

「内山田ハーモニカ同好会」は、初めのうちは内山田地区の出身者だけでしたが、少しずつ口コミで広がり、今では近隣市等も含め14名で活動しています。特に、ボランティア活動として、慰問活動についても施設への慰問や文化祭等に参加するなど積極的に取り組んでいます。

「上之口老人クラブ」は、地域住民の一員として、生涯にわたる自己管理能力と相互連帯意識を高め、心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を送ることを目的に、定期的に学習活動や社会奉仕活動を行っています。

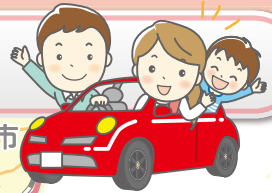


内山田ハーモニカ同好会



上之口老人クラブ

南薩縦貫道が「全線」開通します！



開通
日時

平成29年
3月26日(日)
14:00

今回開通区間

知覧金山水車IC～南九州知覧IC
L=0.8km

知覧金山水車IC～
南九州知覧IC(L=0.8km)
今回開通

凡 例	
■■■■■	現道路利用区間
■■■■■	今回開通区間
■■■■■	供用区間



租税教育の一環として、租税教室を管内5小学校で開催

将来の納税者となる児童（小学5・6年生）を対象に、管内の税務署、南薩地域振興局、各市役所や税理士が講師となって、租税教室を開催しています。振興局の方では、税に関するクイズの出題や税のない仮想社会のアニメDVD放映、1億円レプリカを使った重量体験の実施など、大丸小や益山小等5つの小学校で行いました。子どもたちからは「税がないと、公共サービスを受けられず困ることを知った。」「税の種類の多さや大切さが分かった。」などという感想があり、この租税教室を通じて、子どもたちに税の大切さを伝えることができました。

